



ヒューマン・ライツ・ウォッチ

×

イノセンス・プロジェクト・ジャパン

刑事司法に関する共同キャンペーン

第1回シンポジウム

人質司法を考える

2023. 6.30 (金) 18:00 - 20:00

対面会場

龍谷大学
大阪梅田キャンパス

オンライン
ZOOM

参加費無料

要事前申込み

プログラム(予定)

ヒューマン・ライツ・ウォッチ「日本の人質司法報告書」の趣旨
土井香苗 (ヒューマン・ライツ・ウォッチ日本代表)

「人質司法」の問題点とは
淵野貴生 (イノセンス・プロジェクト・ジャパン理事
/立命館大学教授)

「人質司法」を体験して
山岸忍氏 (プレサンス元社長)、プレサンス元社長えん罪事件弁護団
秋田真志 (IPJメンバー/弁護士)
中村和洋氏 (弁護士/元検察官)
西愛礼 (IPJメンバー/弁護士/元裁判官)

パネルディスカッション「国際社会からみた日本の刑事司法とビジネス」
山岸忍氏、Jesper koll氏
コーディネーター 亀石倫子 (IPJメンバー/弁護士)

ヒューマン・ライツ・ウォッチ×イノセンス・プロジェクト・ジャパンの
共同キャンペーン開始宣言と今後の予定
笹倉香奈 (IPJ事務局長/甲南大学教授)

総合司会 古川原明子 (IPJメンバー/龍谷大学教授)

共催 公益財団法人 ヒューマン・ライツ・ウォッチ
一般財団法人 イノセンス・プロジェクト・ジャパン

協力 プレサンス元社長えん罪事件弁護団
龍谷大学 刑事司法・誤判救済研究センター
IPJ学生ボランティア
KONANプレミア・プロジェクト「多分野の力を集結して「えん罪救済」に取り組むプロジェクト」

<https://onl.la/JZuXyLi>

上記URLもしくは右のQRコードより、
シンポジウムへの参加申し込みが可能です。



「人質司法」ということばを知っていますか

刑事裁判には、無罪の推定という鉄則があります。刑事裁判で有罪判決が確定するまで被疑者・被告人を犯人扱いしてはならず、一般市民と同じように扱うべきというルールです。

でも、実際には「無罪の推定」が及んでいないはずの被疑者・被告人が無罪を主張したり黙秘をしたりすると、自白を引き出すための身体拘束が長期間にわたり行われます。この間の取調べのあり方や、家族や知人との面会が一切禁じられてしまうという「接見禁止」制度などにも問題があります。

罪を認めなければ長期間にわたって身体拘束されるという日本の刑事司法の実務運用は、被疑者・被告人の身体を人質にして有罪判決を獲得しようとするものだと「人質司法」と呼ばれ、国際的にも強く批判されてきました。

本シンポジウムでは、えん罪・プレサンス事件の当事者である山岸忍さんの経験を通じて人質司法の実態を明らかにし、ビジネスという観点から人質司法のあり方をどう考えるかをイエスパー・コールさんと一緒に考えます。

「人質司法」について一緒に考えてみませんか



山岸 忍氏

プレサンスコーポレーション元代表取締役(えん罪当事者)。
刑事裁判で無実を明らかにし、その経緯を著書『負けへんで！東証一部上場企業社長vs地検特捜部』として出版。



イエスパー コール
Jesper Koll氏

エコノミスト。マネックスグループ専門役員。メリルリンチのチーフジャパンアナリスト、J.P.モルガン株式調査部長などを歴任。各種政府諮問委員会のメンバーとしても活躍。
著書に『本当は世界がうらやむ最強の日本経済』『日本経済これから黄金期へ』など

公益財団法人

ヒューマン・ライツ・ウォッチ
(Human Rights watch)

アメリカ合衆国に基盤を持つ国際的な人権NGO。ニューヨークに本部を置き、世界各地の人権侵害と弾圧を止め、世界中すべての人々の人権を守ることを目的に世界90か国で人権状況を監視している。



一般財団法人
イノセンス・プロジェクト・ジャパン
(Innocence Project Japan)

刑事事件のえん罪被害者を支援し救済すること、えん罪事件の再検証を通じて公正・公平な司法を実現することを目指して2016年4月1日に設立された。これまでに2つの支援事件で無罪判決が確定した。

対面会場

定員 50名

龍谷大学 大阪梅田キャンパス

大阪府大阪市北区梅田2丁目2-2

ヒルトンプラザウエストオフィスタワー14階 (大阪駅徒歩5分)

オンライン会場

ZOOM (お申し込み後のメールにてURLをご案内いたします)

参加費は無料です。

どなたでもお気軽にご参加ください。
参加には事前のお申し込みが必要です。

お申込み・詳細は
こちら

